

問 国道113号の特殊車両対策は

答 道路改良の要望について今後も継続して実施したい

武蔵 重幸 議員



町長 国道113号の交通量調査では、11年度大型車の交通量は438台、17年度大型車は651台と32.7%の増加となり、二井宿トンネルの開通及び小原大橋の開通によるものと思われる。近年、他県ナンバーの大型トレーラーの交通が多く、

質問 国道113号は小原地区、二井宿峠の整備が進んだことにより交通量が大幅に増加となっている。特に、大型車両、特殊車両の通行が多くなった。関の発電所から以西の国道については、ほとんど車両と歩道の区別がない狭い道路である。そのため、大型特殊車両が車幅いっぱいになって大変危険な状態である。センターラインをオーバーして本道にすれ違う車が危険を感じている。高齢者の多い町において、子どもと高齢者を安心安全な歩行ができるようにこの特殊車両の制限をする考えがあるか。制限が必要だと思いが町長の考えを聞きたい。

町長 道路法では、幅2.5m、長さ12m、高さ3.8m、総重量20トンを超す車は、道路管理者への届け出が必要である。国道113号が整備されるまでの間、すなわち整備されていない間は、道路管理者へ許可を出さないようお願いする気持ちはあるのか。

質問 特にお年寄りと児童の歩行に不安と恐怖を抱いていることから、関地区の諏訪原地区に歩道設置の要望をしていきたいが、県の土木行政推進計画により、平成22年度に用地買収、23年度に歩道設置工事の実施に至ったところであり、歩道の通行確保が図られるものと思っている。20トン以上の大型車を規制することは道路法に抵触することになり、道路管理者に要望できないと判断されるが、必要な道路改良の要望について今後も継続して実施したい。

町長 法律により、町長から幾ら申し述べても無理だと受け止めている。国道113号は、日本海と太平洋を結ぶ最短ルートであり、本町の観光客の入れ込みは、50万人を超えている。これらの状況は、きちっとしたルールの中で対応したい。

再々質問 実際は35トン以上の車も通っている。国土交通省が道路管理者に、こういう状態のものは届け出をださないというパンフレットがあり、その中で、大半は出ているかもしれないけれども、中には出していない車もあるという回答であった。道路法は、交通安全とも断然また別個の法律で、この重量制限というのは3種類の制限がある。道路法による制限と道路運送車両法による制限と道路運送車両法という法律、三つの法律で制限されている。だから、できるだけ道路整備がされるまで、許可の検討をむしろは早期改修の要望をするべきであるが、町長の考えを聞きたい。



▲注意 この先道路せまい スピード落とせ (関地区)

問 家畜伝染病口蹄疫に対する予防は

答 衛生管理の徹底を呼びかけている

問 デマンドバスの早期なる実現を

答 デマンド交通についての在り方を研究していきたい

梅津 政志 議員



町長 宮崎県の口蹄疫発生は4月20日、1例目が確認されてから5月30日現在までに感染の疑いがある地域の牛1万9352頭、豚13万2736頭が殺処分されている。口蹄疫ウイルスは非常に細胞の小さなウイルスで、著しく強い伝播性があり、空気感染で広がっ

質問 宮崎県で発生し、大きな広がりを見せている家畜伝染病口蹄疫はその非常に強い感染力が今なお猛威をふるっており、感染防止には至っていない。宮崎産の牛が全国に多数出荷されていることを考えると、遠く離れていても決して安心するわけにはいかず、また畜産農家の多い我が町でも農家に対して注意の喚起を促し、また万全なる水際対策を講じることで町への口蹄疫の進入を防止することが必要であるが、町の対策はどうなっているのか。また、消石灰の配布についてもこれまでの実施状況、あるいは今後の方針について聞きたい。

S 産業振興課長 県内、あるいは近県で発生が確認された場合の対応マニュアルは、まだ作成していない。

質問 ていくのが現状である。町としては、緊急防疫対策会議の資料と消石灰2袋40キロずつ24戸の畜産農家に配布と説明を行い、衛生管理の徹底を呼びかけている。また、消毒用の薬剤、消石灰等や防疫用の消耗品を購入するため今定例会に補正予算を計上し、防疫対策の徹底を図っていく。

町長 運営面では、オペレーターの人件費がかかるなど一般の路線バスに比べて運行経費は高くなる。デマンド方式による公共交通機関の運行は本町のような過疎地域で特に注目されているが、バスではなくデマンド型乗り合いタクシーなどとして導入されている。

質問 先般 議会のバス特別委員会にてデマンドバスの先進地である丸森町、高島町を視察した。両町ともこの方式で大変大きな効果を得ており、また利用者からも絶対的な指示を受け、デマンド本来の利便性と経済性が住民の信頼をしっかりとつかんでいることも伺えた。システム、運行方法は両町とも大きな経費をかけており、予算的にも大変大きな負担になっていることも確かであるが、システムについては、町独自のやり方、工夫で経費を抑え、さらに大きな効果を得ることも可能であるので、デマンドバスに取り組み強い気持ちがあるかどうか聞きたい。

町長 町内線は、スクールバスと町営バスが運行しているので、ほぼ住民の用に供しているものと理解している。ただ、高齢者によって免許返納者が毎年増加している。今後地域の方々の意見を聞きながら、様々な角度から検討し、組み立ててい

質問 今後は町民の要望を掌握し、商工会で計画している地域経済再生方向上支援事業の検討結果を踏まえ、デマンド交通についての在り方を研究していきたい。

町長 町内線は、スクールバスと町営バスが運行しているので、ほぼ住民の用に供しているものと理解している。ただ、高齢者によって免許返納者が毎年増加している。今後地域の方々の意見を聞きながら、様々な角度から検討し、組み立ててい

再々質問 高島町に視察の際、同行していた議員から峠田以西の人達も大分高島病院を利用しているということで、高島町のデマンドバス、何とか応分の負担をして七ヶ宿まで乗り入れてもらうことはできないかという質問で、高島町商工観光課長から高島町にとっても大きなメリットのあることなので、大いに検討させてもらうということまで前向きな答えがあったが、今後この件について高島町と協議する気持ちがあるか聞きたい。